Ⅸ.エコーガイド下CVC挿入推進チーム

エコーガイド下CVC推進チームは、安全なCVC挿入を目的に2010年から活動を行っている。

2023年度は、インストラクターとして医師16名（麻酔科・疼痛制御科、ICU、救命救急センター、血液内科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、消化管内科、炎症性腸疾患外科、下部消化管外科、泌尿器科）と、医療人育成研修センター看護師1名、医療安全管理部看護師2名・薬剤師1名のチームメンバーで活動を行った。講習会に関しては、2023年度から、講義をE-learning受講とし、開催時間の短縮を図った。講習は、5/22、23、24、6/1、10/24、26の計6回、シミュレーションセンターにて17時から19時の2時間でハンズオン・手技チェックを実施した。また、8/31、9/1に臨床初期研修医に対するハンズオン研修を実施し、総受講人数は93名であった。

モニタリングとして、CVC挿入時の合併症調査を実施した。延べ挿入数2,401症例に対し、合併症は20症例（発生率0.8%）であった。更に認定医不在の場合には、チームメンバーが支援する体制を確立しており、2023年度は　7件の挿入もしくは立ち合いの依頼があった。依頼診療科は、6科であった。（うち4件はエコー下では挿入困難と判断し、透視下での挿入を放射線科に依頼した。）

エコーガイド下中心静脈穿刺認定医の登録条件を満たした医師に対し、以下の認定証を発行した。

「エコーガイド下中心静脈カテーテル穿刺医師認定証」33名、「PICCカテーテル穿刺医師認定証」20名。

また、中心静脈カテーテル挿入に関する医療事故スタンダードマニュアルを改訂し、CVC挿入前タイムアウト・挿入中・挿入後チェック表を作成した。CVC講習会の際はミーティングを開催し、CVカテーテルに関するインシデント・アクシデントの共有・CVカテーテル入れ替えのガイドワイヤー使用状況の確認を行っている。

Ⅸ-1　2023年度穿刺部位別合併症

（件）

区分	気胸	動脈穿刺	血腫	動脈穿刺血腫	動脈内カテーテル留置	カテーテル迷入	カテーテル先端位置不適切	その他	合計
内頸静脈		3	4				5		12
鎖骨下静脈	1								1
大腿静脈									
その他		1	1				2		4
合計	1	4	5				7		17

Ⅸ-2　2023年度診療科別穿刺件数と合併症

区分	件数	合併症（件）	発生率(%)	区分	件数	合併症（件）	発生率(%)
循環器内科	192			乳腺・内分泌外科	1		
血液内科	267	2	0.7	心臓血管外科	99	1	1.0
アレルギー・リウマチ内科	14	1	7.1	呼吸器外科	24		
糖尿病・内分泌・代謝内科	4			整形外科	8		
肝・胆・膵内科	9			形成外科	1		
消化管内科	343	4	1.2	脳神経外科	32	1	3.1
呼吸器内科	17			皮膚科	4		
脳神経内科	5	1	20.0	泌尿器科	36		
腎・透析内科	56			産科婦人科	7		
総合内科				耳鼻咽喉科・頭頸部外科	17		
小児科	36			放射線科	114	2	1.8
NICU・GCU	144			麻酔科・疼痛制御科	288	2	0.7
肝・胆・膵外科	108			歯科口腔外科	4		
小児外科	6	1	16.7	ペインクリニック部			
上部消化管外科	28	1	3.6	救命救急センター	277	2	0.7
下部消化管外科	73			精神科神経科	3		
炎症性腸疾患外科	142	1	0.7	ICU	42	1	2.4
				合計	2,401	20	0.8